

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	中3／本科	教科／科目	英語	時間数	6+2時間／週
1学期期末試験まで					
単元名	Lesson 7 Family Time in the Living Room			使用教材	
単元の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・過去のできごとや過去の状態を現在と結びつけて「…したところだ」「ずっと…している」と伝えることができる。 ・自分が過去にしたことがある経験を伝えることができる。 			NEW TREASURE ENGLISH SERIES THIRD EDITION STAGE 2	
評価規準			単元内容		
究	A3	B3	C3	[Warm Up] 動詞の時制を理解してやりとりすることができる。 [Grammar in Use] 7-1 「…したところだ」と完了した動作やその結果を伝える。 7-2 「…したことがある」と今までに経験したことを伝える。 7-3 & 7-4 「ずっと…している」と過去から現在まで継続している状態や動作を伝える。 [Read] Food Waste in Japan 留学生による日本の食料廃棄についてのスピーチを読み、その状況や解決策を知る。 [Action] 食料廃棄を削減する方法を考える。 [Critical Thinking] 分類:情報を整理して伝える。 [Word Square] 国名/身につける物 [Pronunciation] 子音5/イントネーション	[文法事項] 現在完了
	食料廃棄問題に関する語彙や学習した文法を基に、関連語彙・文法への推測力を発揮しながら、発展的な文脈においても読解・聴解することができる。	食料廃棄問題について自分の考えや気持ちを発表し、他者と共有・意見交換することができる。	食料廃棄問題を発展的に捉え、新たな問題点を提示するだけでなく、自分なりの解決策を論理的に主張することができる。		
活	A2	B2	C2	[Action] 食料廃棄を削減する方法を考える。 [Critical Thinking] 分類:情報を整理して伝える。 [Word Square] 国名/身につける物 [Pronunciation] 子音5/イントネーション	[文法事項] 現在完了
	食料廃棄問題に関する語彙や学習した文法を基に、関連する内容についての平易な英文を読解することができる。	食料廃棄を減らすために、食品業界と家庭、それぞれができる工夫を書き、意見を表現することができる。	食料廃棄問題を批判的に捉え、独自の視点を織り交ぜながら、自分の考えを論理的に主張することができる。		
礎	A1	B1	C1	<留意点・評価> <プレゼンテーション活動> ①食料廃棄を削減する方法について考え、自分たちができることについて話し合い、発表する。 発表法:グループに分かれて発表する。 ②現在完了・現在完了進行形を用いた会話を創造し、グループで発表する。	
	学習範囲の基本語彙・文法を的確に理解し、読解・聴解することができる。	本文の内容を、聴き手に伝わるように音読できる。食料廃棄をテーマにしたスピーチについて整理してリテリングができる。	食料廃棄問題に対する自分なりの解決策を論理的に表現することができる。		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	中3／本科	教科／科目	英語	時間数	6+2時間／週	
1学期期末試験まで						
単元名	Lesson 8 Lunch in Chinatown			使用教材		
単元の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな名詞の種類を区別することができる。 ・「2つのうち1つ」などを、それぞれ代名詞で正しく指し示すことができる。 			NEW TREASURE ENGLISH SERIES THIRD EDITION STAGE 2		
評価規準			単元内容			
究	<p>A3</p> <p>スポーツに関する語彙や学習した文法を基に、関連語彙・文法への推測力を発揮しながら、発展的な文脈においても読解・聴解することができる。</p>	<p>B3</p> <p>スポーツを通して学んだことについて自分の考えや気持ちを発表し、他者と共有・意見交換することができる。</p>	<p>C3</p> <p>スポーツを通して学んだことを発展的に捉え、新たな問題点を提示するだけでなく、自分なりの解決策を論理的に主張することができる。</p>	<p>[Warm Up]</p> <p>代名詞を理解することができる。</p> <p>[Grammar in Use]</p> <p>8-1 さまざまな名詞を使う。</p> <p>8-2 「(いくつかあるもののうちの)1つ」や「その他、残り」などを伝える。</p> <p>8-3 「自分自身で…した」などを伝える。</p> <p>[Read]</p> <p>Skating for Peace</p> <p>オリンピック冬季競技大会に出場したフィギュアスケート選手カタリナ・ビットについて読み、スポーツを通しての学びを知る。</p>	<p>[文法事項]</p> <p>名詞／不定代名詞／再帰代名詞</p>	
活	<p>A2</p> <p>スポーツに関する語彙や学習した文法を基に、関連する内容についての平易な英文を読解することができる。</p>	<p>B2</p> <p>自分がスポーツを通して学んだことを挙げ、スポーツのもたらす影響について適切な資料を教科書以外から自分で探し、自らの意見を含めて表現することができる。</p>	<p>C2</p> <p>スポーツを通して学んだことを批判的に捉え、独自の視点を織り交ぜながら、自分の考えを論理的に主張することができる。</p>	<p>[Action]</p> <p>スポーツを通して学んだことを発表する。</p> <p>[Critical Thinking]</p> <p>分類:事実と意見を区別する。</p> <p>[Word Square]</p> <p>地域の名所や名物／申し込み</p> <p>[Pronunciation]</p> <p>二重母音1／強弱のリズム</p>		
礎	<p>A1</p> <p>学習範囲の基本語彙・文法を的確に理解し、読解・聴解することができる。</p>	<p>B1</p> <p>本文の内容を、聴き手に伝わるように音読できる。スポーツを通して平和の大切さを訴えた本文について整理してリテリングができる。</p>	<p>C1</p> <p>スポーツを通して学んだことを事実と意見を区別し、論理的に表現することができる。</p>	<p>〈留意点・評価〉</p> <p><プレゼンテーション活動></p> <p>①スポーツ(スポーツ以外の部活や習い事なども含む)をすることや見ることを通して、経験したこと(fact)と学んだことやその経験についての意見・感想(opinion)を区別してまとめ、発表する。</p> <p>発表法:クラスで1人ずつ発表する。</p> <p>②名詞・不定代名詞・再帰代名詞を用いた会話を創造し、グループで発表する。</p>		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考			

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	中3／本科	教科／科目	英語	時間数	6+2時間／週
1学期期末試験まで					
単元名	Lesson 9 Kevin, a Popular Guitar Player			使用教材	
単元の概要	・人やものについて、詳しい情報を加えて説明することができる。			NEW TREASURE ENGLISH SERIES THIRD EDITION STAGE 2	
評価規準			単元内容		
究	A3 貧困問題に関する語彙や学習した文法を基に、関連語彙・文法への推測力を発揮しながら、発展的な文脈においても読解・聴解することができる。	B3 関心のある貧困問題について自分の考えや解決策を発表し、他者と共有・意見交換することができる。	C3 貧困問題を発展的に捉え、新たな問題点を提示するだけでなく、自分なりの解決策を論理的に主張することができる。	[Warm Up] 副詞を理解することができる。 [Grammar in Use] 9-1 さまざまな語句で名詞を後ろから説明する。 9-2 分詞を使って名詞を説明する。 [Read] Thank You, Kaka Murad 危険な紛争地域で人道支援活動を行った医師、中村哲さんについて読み、貧困問題への取り組みを知る。 [Action] 貧困をなくすためにできることを考える。 [Critical Thinking] 因果：問題解決策を探る。	[文法事項] 後置修飾／分詞による修飾
活	A2 貧困問題に関する語彙や学習した文法を基に、関連する内容についての平易な英文を読解することができる。	B2 関心のある貧困問題について説明し、解決策を考えて表現することができる。	C2 貧困問題を批判的に捉え、独自の視点を織り交ぜながら、自分の考えを論理的に主張することができる。	[Word Square] 文房具／電化製品 [Pronunciation] 二重母音2・母音3／強弱のリズム	
礎	A1 学習範囲の基本語彙・文法を的確に理解し、読解・聴解することができる。	B1 本文の内容を、聴き手に伝わるように音読できる。紛争地域における貧困問題への取り組みについて書かれた本文を整理してリテリングができる。	C1 貧困によって起こる問題とその解決のためにできることを論理的に表現することができる。	〈留意点・評価〉 ＜プレゼンテーション活動＞ ①関心のある貧困問題を取り上げて解決策を考え、発表する。 発表法：グループに分かれて発表する。 ②分詞を用いた会話を創造し、グループで発表する。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	中3／本科	教科／科目	英語	時間数	6+2時間／週
2学期期末試験まで					
単元名	Lesson 10 Seeing a Broadway Show			使用教材	
単元の概要	・人やものについて、特徴や様子を付け加えることで詳しい情報を伝えることができる。			NEW TREASURE ENGLISH SERIES THIRD EDITION STAGE 2	
評価規準			単元内容		
究	A3 教訓の込められた物語に関する語彙や学習した文法を基に、関連語彙・文法への推測力を発揮しながら、発展的な文脈においても読解・聴解することができる。	B3 物語から得られた教訓とその根拠を発表し、他者と共有・意見交換することができる。	C3 物語から得られた教訓を発展的に捉え、新たな問題点を提示するだけでなく、自分なりの解決策を論理的に主張することができる。	[Warm Up] 冠詞を理解することができる。 [Grammar in Use] 10-1 関係代名詞を使って、人やものがどんな様子なのかを説明する。 10-2 関係代名詞を使って、人やものに対して何をしたのか説明する。 10-3 関係代名詞 that を使って、限定・強調された人やものを説明する。 [Read] A Jackal Met a Man for the First Time 東南アジアの民話をもとにしたジャッカルと年老いたシカの物語を読み、教訓を得る。 [Action] 物語から教訓を読み取る。 [Critical Thinking] 具体：主張とその根拠を明確にする。 [Word Square] 対で覚える形容詞／予約をする [Pronunciation] 母音4・二重母音3／音のつながり	
	A2 教訓の込められた物語に関する語彙や学習した文法を基に、関連する内容についての平易な英文を読解することができる。	B2 物語から得られた教訓とその根拠を挙げ、発表することができる。	C2 物語から得られた教訓を批判的に捉え、独自の視点を織り交ぜながら、自分の考えを論理的に主張することができる。	[文法事項] 関係代名詞	
活	A1 学習範囲の基本語彙・文法を的確に理解し、読解・聴解することができる。	B1 本文の内容を、聴き手に伝わるように音読できる。ジャッカルと年老いたシカの物語を整理してリテリングができる。	C1 物語から得られた教訓とその根拠を論理的に表現することができる。	〈留意点・評価〉	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考	<プレゼンテーション活動> ①ジャッカルと年老いたシカの物語から得られる教訓を考え、その根拠をジャッカルやシカの行動などに基づいて示し、発表する。 発表法：グループに分かれて発表する。 ②関係代名詞を用いた会話を創造し、グループで発表する。	

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース		中3／本科		教科／科目		英語		時間数		6+2時間／週	
2学期期末試験まで											
単元名		Lesson 11 The Time Yumi Spent in New York						使用教材			
単元の概要		・不定詞を用いてさまざまな内容を伝えることができる。						NEW TREASURE ENGLISH SERIES THIRD EDITION STAGE 2			
評価規準						単元内容					
究	A3 ロボットやAIに関する語彙や学習した文法を基に、関連語彙・文法への推測力を発揮しながら、発展的な文脈においても読解・聴解することができる。		B3 AIロボットが英語のスピーキング・テストの面接官を務めることへの賛否とその理由を発表し、他者と共有・意見交換することができる。		C3 AIロボットが英語のスピーキング・テストの面接官を務めることを発展的に捉え、新たな問題点を提示するだけでなく、自分なりの解決策を論理的に主張することができる。		[Warm Up] 前置詞を理解することができる。 [Grammar in Use] 11-1「・・・することは楽しい[大切だ]」などと自分の意見や考えを伝える。 11-2「どのように[何を;いつ]・・・したらよいか」について伝える。 11-3「あまりに～なので・・・できない」など状況を説明する。 11-4「～に・・・させる[してもらう]」などと人に行方をさせることを説明する。 [Read] AI and Man Working Together ロボットや人工知能(AI:Artificial Intelligence)の発展と私たちの生活の変化について読み、よりよい世界を作っていくことの重要性を知る。 [Action] AIとどのように共存するかを考える。 [Critical Thinking] 賛否:根拠を添えて意見を述べる。 [Word Square] 苦情を言う/温度の単位 [Pronunciation] 子音連続1/音のつながり				
	活	A2 ロボットやAIに関する語彙や学習した文法を基に、関連する内容についての平易な英文を読解することができる。		B2 AIロボットが英語のスピーキング・テストの面接官を務めることへの賛否を表明し、その理由を発表することができる。		C2 AIロボットが英語のスピーキング・テストの面接官を務めることを批判的に捉え、独自の視点を織り交ぜながら、自分の考えを論理的に主張することができる。					
礎		A1 学習範囲の基本語彙・文法を的確に理解し、読解・聴解することができる。		B1 本文の内容を、聴き手に伝わるように音読できる。AIの発展と人間の生活の関わりについて整理してリテリングができる。		C1 AIロボットが英語のスピーキング・テストの面接官を務めることへの賛否とその理由を論理的に表現することができる。		〈留意点・評価〉			
	知性・知識		応用・発展		創造的思考		<プレゼンテーション活動> ①英語のスピーキング・テストの面接官をAIロボットが行うとしたら賛成か反対かを、自分の立場とその理由を明らかにして発表する。 発表法:クラスで1人ずつ発表する。 ②不定詞を用いた会話を創造し、グループで発表する。				

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース		中3／本科		教科／科目		英語		時間数		6+2時間／週			
2学期期末試験まで													
単元名		Lesson 12 Let's Get Together Again						使用教材					
単元の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞を使って、知っていることを話したり、質問したりすることができる。 ・付加疑問詞を使って、相手に念押しすることができる。 ・仮定法を使って、現実ではないことを想像して話したり、事実とは異なる願望を伝えたりすることができる。 						NEW TREASURE ENGLISH SERIES THIRD EDITION STAGE 2					
評価規準						単元内容							
究	A3	戦争に関する語彙や学習した文法を基に、関連語彙・文法への推測力を発揮しながら、発展的な文脈においても読解・聴解することができる。	B3	沖縄での宮良さんの戦争体験から学んだこと、感じたこと、自分の生活にどのように生かすかを発表し、他者と共有・意見交換することができる。	C3	沖縄での宮良さんの戦争体験を発展的に捉え、新たな問題点を提示するだけでなく、自分なりの解決策を論理的に主張することができる。	[Warm Up] 間投詞を用いてやりとりすることができる。 [Grammar in Use] 12-1 知っていることや確認したいことを、疑問詞を使って伝える。 12-2 「・・・ですよね」と相手に念を押して確認する。 12-3 現実ではないことや事実とは異なる願望を、想像して伝える。 [Read] A War Storyteller from the Himeyuri Student Corps ひめゆり学徒隊の一員であった宮良ルリさんの体験談を読み、沖縄の地上戦を知る。 [Action] 宮良さんの体験を未来に生かす。 [Critical Thinking] 体験を批判的に捉え、独自の視点を織り交ぜながら、自分の考えを論理的に主張することができる。 [Word Square] 家／料理 [Pronunciation] 子音連続2／子音連続3／イントネーション			[文法事項] 間接疑問／付加疑問／仮定法			
	活	A2	戦争に関する語彙や学習した文法を基に、関連する内容についての平易な英文を読解することができる。	B2	沖縄での宮良さんの戦争体験から学んだこと、感じたこと、自分の生活にどのように生かすかを発表することができる。	C2	沖縄での宮良さんの戦争体験を批判的に捉え、独自の視点を織り交ぜながら、自分の考えを論理的に主張することができる。						
		礎	A1	学習範囲の基本語彙・文法を的確に理解し、読解・聴解することができる。	B1	本文の内容を、聴き手に伝わるように音読できる。沖縄での宮良さんの戦争体験談を整理してリテリングができる。	C1	沖縄での宮良さんの戦争体験から学んだこと、感じたこと、自分の生活にどのように生かすかを論理的に表現することができる。	〈留意点・評価〉				
			知性・知識		応用・発展		創造的思考		<プレゼンテーション活動> ①沖縄での宮良ルリさんの戦争体験から学んだことと感じたことをまとめ、自分の生活にどのように生かすかを考え、発表する。 発表法：グループに分かれて発表する。 ②仮定法を用いた会話を創造し、グループで発表する。				

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	中3／本科	教科／科目	英語	時間数	6+2時間／週
3学期期末試験まで					
単元名	Lesson 1 What We Can Gain From Volunteer Work			使用教材	
単元の概要	・周囲の助けとなるために何ができるかを考えることができる。 ・過去の経験やできごとを時系列に沿って伝えることができる。			NEW TREASURE ENGLISH SERIES THIRD EDITION STAGE 3	
評価規準			単元内容		
究	A3 ボランティアに関する語彙や学習した文法を基に、関連語彙・文法への推測力を発揮しながら、発展的な文脈においても読解・聴解することができる。	B3 興味のあるボランティア活動とその理由を発表し、他者と共有・意見交換することができる。	C3 ボランティア活動を発展的に捉え、新たな問題点を提示するだけでなく、自分なりの解決策を論理的に主張することができる。	[Grammar Review] 現在完了の継続用法を再確認する。 [Grammar in Use] 1-1【復習】時制／現在完了・現在完了進行形 1-2 過去完了／過去完了進行形 1-3 大過去・時制の一致による過去完了／未来完了 [Reading] Life in Chile as a JOCV Volunteer ボランティアに関する対話、レポートを読む。 チリで環境教育活動に従事した依田武則さんの経験とその思いを読み取る。	[文法事項] 時制／現在完了／現在完了進行形／過去完了／過去完了進行形／未来完了
活	A2 ボランティアに関する語彙や学習した文法を基に、関連する内容についての平易な英文を読解することができる。	B2 興味のあるボランティア活動を挙げ、その理由を発表することができる。	C2 ボランティア活動を批判的に捉え、独自の視点を織り交ぜながら、自分の考えを論理的に主張することができる。	[Listening] 過去のできごとや経験についての説明を聞き取る。 [Writing] 物事が起こった順序や伝えたい主題を具体的に書く。 [Speaking] 時系列に沿って行程や思い出を説明する。 [Critical Thinking] 英文の主題を読み取る。《Main Idea》	
礎	A1 学習範囲の基本語彙・文法を的確に理解し、読解・聴解することができる。	B1 本文の内容を、聴き手に伝わるように首読できる。チリで環境教育活動に従事した依田武則さんの体験談を整理してリテリングができる。	C1 興味のあるボランティア活動とその理由を論理的に表現することができる。	〈留意点・評価〉 <プレゼンテーション活動> ①興味のあるボランティア活動を取り上げてその理由を考え、発表する。 発表法：クラスで1人ずつ発表する。 ②過去完了・過去完了進行形を用いた会話を創造し、グループで発表する。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース		中3／本科		教科／科目		英語		時間数		6+2時間／週			
3学期期末試験まで													
単元名		Lesson 2 Living in Harmony						使用教材					
単元の概要		<ul style="list-style-type: none"> さまざまな人とともに暮らす社会について考えることができる。 現在・過去の推量や、過去の習慣を表現できる。 						NEW TREASURE ENGLISH SERIES THIRD EDITION STAGE 3					
評価規準						単元内容							
究	A3	B3	C3	[Grammar Review] 助動詞を再確認する。 [Grammar in Use] 2-1 ‘推量’を表す may / might / must / ‘義務・推量’を表す should / ought to 2-2 ‘可能性・推量’を表す can / cannot / could / ‘意志・習慣’を表す will / would / used to 2-3 ‘過去についての推量’を表す(助動詞+have+過去分詞) / ‘過去についての非難や後悔’を表す(助動詞+have+過去分詞) [Reading] The Story of Kanazawa Shoko さまざまな背景をもつ人の生活と芸術に関する講義や対話を読む。 書家・金澤翔子さんの生い立ちや書に込める思いを読み取る。 [Listening] 過去についての推量を含む対話を聞き取る。 [Writing] 過去についての推量や過去の習慣などについて正確に書く。 [Speaking] 過去の経験などについてのスピーチをする。 [Critical Thinking] 聞き取った情報を正しく伝える。《Describing》				[文法事項] ‘推量’を表す助動詞 / ‘義務’を表す助動詞 / ‘可能性・推量’を表す助動詞 / ‘意志・習慣’を表す助動詞 / 助動詞+have+過去分詞					
	A2	B2	C2	環境教育活動に関する語彙や学習した文法を基に、関連する内容についての平易な英文を読解することができる。				環境教育活動に関する語彙や学習した文法を基に、関連する内容についての平易な英文を読解することができる。					
活	A2	B2	C2	環境教育活動に関する語彙や学習した文法を基に、関連する内容についての平易な英文を読解することができる。				環境教育活動に関する語彙や学習した文法を基に、関連する内容についての平易な英文を読解することができる。					
	A1	B1	C1	学習範囲の基本語彙・文法を的確に理解し、読解・聴解することができる。				本文の内容を、聴き手に伝わるように音読できる。 書家の金澤翔子さんの物語を整理してリテリングができる。					
礎	A1	B1	C1	今までに見たことのある芸術や科学に関する展示や体験を批判的に捉え、独自の視点を織り交ぜながら、自分の考えを論理的に主張することができる。								〈留意点・評価〉	
											<プレゼンテーション活動> ①今までに見たことのある芸術や科学に関する展示や体験について発表する。 発表法:クラスで1人ずつ発表する。 ②新しく学習した助動詞を用いた会話を創造し、グループで発表する。		
知性・知識		応用・発展		創造的思考									